

説明書は、右開き勝手扉について図示してありますので、左開き勝手扉の場合は、本図と左右対称の位置となるように取付けて下さい。

### 1 必ず吊元（丁番側）の見える側又は、扉を引いて開ける側に立った時に吊元が

左に見えるものを  
左開き勝手扉

右に見えるものを  
右開き勝手扉

### 扉の開き勝手

a) 本体及び付属部品には、左右の勝手がありませんが、扉の開き勝手によって、取付ける向きが異なります。  
b) 左右の開き勝手区分①又は②によって、正しい向きに取付けて下さい。

### 扉のどちら側に取付けるか

a) クローザ本体は、左図の如く丁番の見える側に取付けて下さい。

### 5 アームブラケットの取付

M4×8丸皿小ネジ (両着刺付)  
アームブラケット  
上枠

a) アームブラケットを上枠に取付ネジ（4本）にて取付けて下さい。

**注** 取付ネジは、強く締付けて下さい。緩いとアームがぐらつき正常な機能を果たさなくなります。

### 2 取付位置の決め方

a) 添付の型紙を使って、取付穴の位置を決めて下さい。

#### アルプラクラスK3

新日軽型紙番号 MI-1355  
美和ロック型紙番号 858K318

[上枠] 195.5 2020 30 2020

[上框] 4-φ6穴 2-φ5穴 143.5 9.5 9.5 64 50 64 40

#### アリツPPG

新日軽型紙番号 MI-1359  
美和ロック型紙番号 858K319

[上枠] 185.5 2020 30 2020

[無目] (ランマ付ドア) 168.5 2020 30 2020

#### [上框]

64 50 64 42

(36)……エアパスタアの場合

### 6 メインアームの取付

メインアーム連結ボルト  
メインアーム  
ピニオン軸  
速度調整弁側  
アジャストアーム  
フォークアーム

a) 本体の向きは速度調整弁を吊元の反対側に向けて下さい。  
b) メインアームは必ず本体から直角に突出るように取付けて下さい。  
c) メインアームをピニオン軸にメインアーム連結ボルトにてしっかり締付けて下さい。

**注** メインアームがピニオン軸に入りにくいときは、ピニオン軸にメインアームの角穴をあてがい、連結ボルトにてねじ込んで下さい。ハンマー等でメインアームをたたいて入れるとピニオン軸受部を破損し、油もれを起こし正常に機能しなくなります。

### 7 クローザ本体の取付

真直ぐはめる  
吊元側  
スライドする  
M5×12丸皿小ネジ  
本体  
メインアーム  
速度調整弁シール  
本体ブラケット  
吊元側

a) 本体を本体ブラケットにはめ合わせて、本体を吊元側に向かって扉面にそってスライドして下さい。  
b) 本体固定ネジ（2本）にて、本体を本体ブラケットに固定して下さい。  
● 左図は本体の裏面から見ておりますので向きにご注意下さい。

### 3 裏板の取付

a) 上枠に裏板を取付ネジ（2本）にて取付けて下さい。

裏板 M4×6トラス小ねじ

b) 上框に裏板を取付ネジ（2本）にて取付けて下さい。

裏板 M4×6トラス小ねじ

### 4 本体ブラケットの取付

吊元側表示  
本体ブラケット

a) 本体ブラケットの○印を吊元側に向けて扉面に取付ネジ（4本）にて取付けて下さい。

**注** 取付ネジは、強く締付けて下さい。緩いと本体がぐらつき正常な機能を果たさなくなります。

M5×12皿小ネジ (D=φ9)

### 8 アームの連結

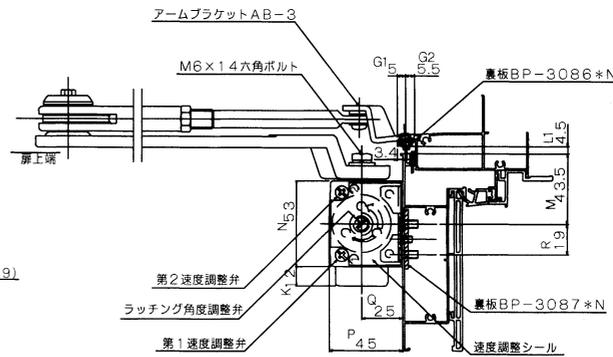
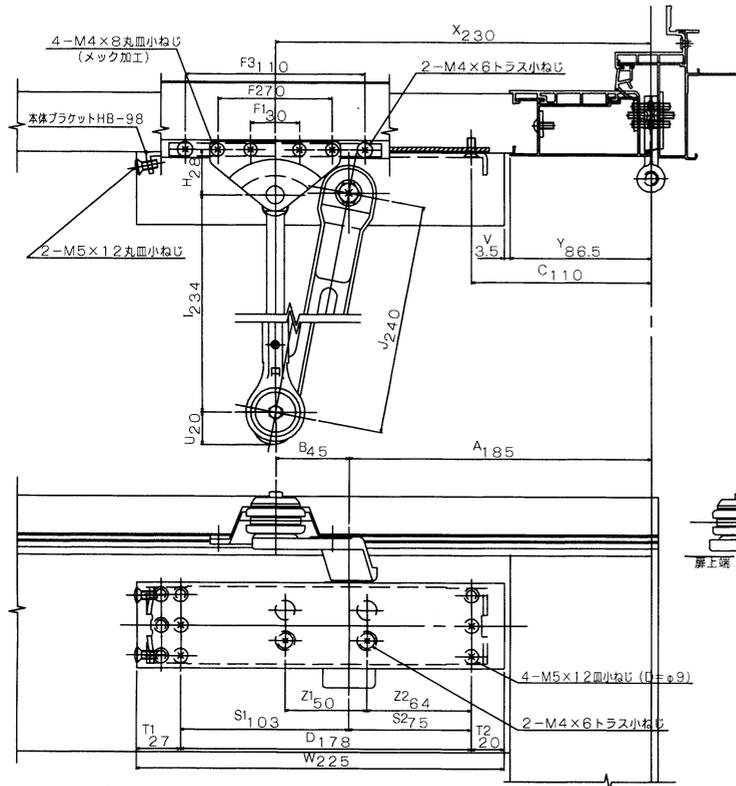
本体  
アームブラケット  
アジャストアーム  
フォークアーム  
メインアーム  
上枠  
扉  
アジャストアーム  
M5×8ワッシャヘッド

a) アジャストアームをアームブラケットに連結して下さい。その時、フォークアームは扉面又は上枠面と直角になるように、ロックナットを緩めアジャストアームをねじり、長さを調節して下さい。  
b) 長さを調節後ロックナットを充分締付けてください。  
c) 扉面を開きアジャストアームをアームブラケットにネジにて固定して下さい。

ストップ角度の決め方及び速度調整の方法は裏面をご覧下さい。

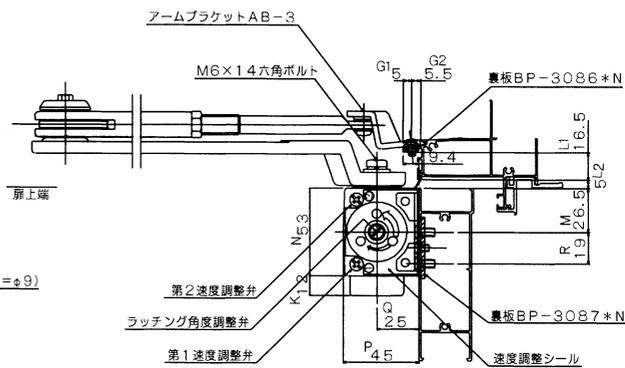
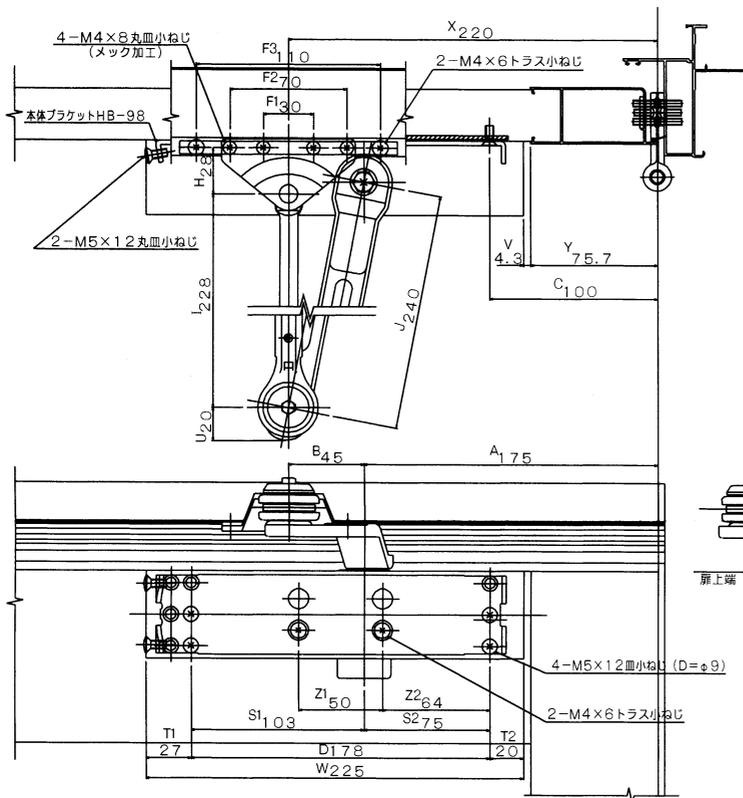
### ※3XACHK2取付寸法図

●アルファベット記号は、電話等で、お問合わせの時、呼称してください。



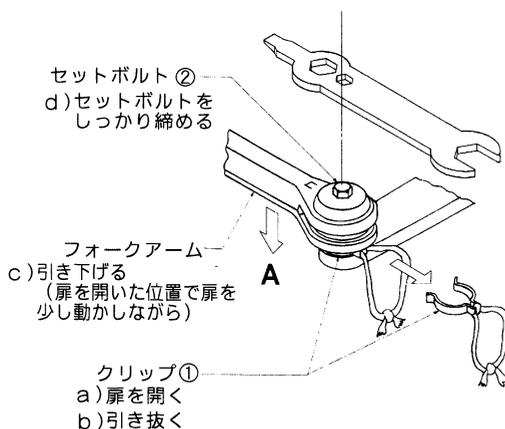
### ※3XACHK3取付寸法図

●アルファベット記号は、電話等で、お問合わせの時、呼称してください。



## 9 ストップ角度の決め方

- 扉をストップさせたい角度まで開いて下さい。
- クリップ①を引き抜いて下さい。
- 開いた位置でフォークアームのA部分を引き下げて下さい。抜いたクリップの幅の分(約5mm)下がり、フォークアームがはまり込みます。フォークアームがはまり込むとストップ仮止め状態となります。(扉から手をはなしても扉が戻らない状態となります。)
- セットボルト②をしっかりと締め付けて完了です。
  - ※1. ストップ角度は、8～9度間隔で設定できます。(0～90度間)
  - ※2. なお、再度ストップ角度を変える場合は、
    - 扉を開きストップさせておいて下さい。
    - セットボルト②をいっばいにゆるめて下さい。
    - フォークアームA部分を、いっばい押し上げるとストップ装置は解除されます。
    - その後は、ストップ角度の決め方の手順a, c, dによって決めて下さい。
  - ※3. セットボルト②は、外れ止めを付けてありますので、いっばいにゆるむとかたくなりますが、必要以上に無理に緩めないで下さい。
  - ※4. 引き抜いたクリップは不要です。



## 10 速度調整の方法

このドアクローザは工場出荷段階で速度調整がされていますので、通常は調整が不要です。もし調整が必要な場合は、次の要領で行って下さい。この要領は、クローザ本体の吊元側にシールで貼付してあります。

- 調整弁は3つあります。1速弁と2速弁で全体の閉じる速度を調整します。下図のように、調整弁を左に回せば閉扉スピードははやく逆に右に回せばおそくなります。

はやくなる (⊕) おそくなる (⊖)

- 第2速度調整弁  
2速をはやくしたい場合は左へ回す
- 第1速度調整弁  
1速をはやくしたい場合は左へ回す
- ラッチング力調整弁

扉が閉じる寸前の「力」を強くしたい場合は、ラッチング力調整弁を調整する場合は、ミシン目内のシールをはがしてください。

1回転約1度(最大4度まで)  
※ 閉じる「力」を弱くしたい場合は右へ回す。

ラッチング力

つよくなる (⊕) よわくなる (⊖)

**注** 調整弁は必要以上に回したりしないで下さい。緩めすぎると調整弁がはずれ油もれを起こし正常に機能しなくなります。電動ドライバーは、故障の原因となるため、使用しないで下さい。

